

# 平成 30 年度 生徒自らが行う学習環境整美事業実績報告

## 「校庭整備（土入れ）作業」

- 1 事業を実施した結果、教育的効果（生徒の取組み等）の状況等
  - ・本校のグラウンドは、開校時に先輩方が桑畑を開墾してつくられたもので、排水設備は十分に整っていないとか、全体に傾斜している等の問題がある。これらを根本的に改善するには多額の経費が必要となるとともに、生徒の力だけでは対応できない。しかし、昨年度に引き続き、野球部の生徒自ら手作業で土を広げてほぼ平らにすることで、先輩方のご尽力に感謝するとともに、練習する場所があることに喜びを感じ、日常のグラウンド整備等の管理の重要性を学ぶことができた。
  - ・作業以降、野球部員全員が現在のグラウンドができるまでの経緯や日々の管理の重要性を再確認したことで、今まで以上に感謝してグラウンドを使用するようになった。
  - ・本校のグラウンドは若干の傾斜があるため、丁寧に整備しても降雨によって表土が流失してしまう。今後も安全で充実した練習を実施するため、本事業を継続していただきたい。
- 2 作業の様子



車で黒土を搬入



リヤカーを使って黒土を数か所に運ぶ



点々と運ばれた黒土を手作業で広げる



トンボを使って丁寧に平らにする



作業完了